

## 兵庫県立小野高等学校卒業証書授与式 校長式辞 (R6.3.1)

冬の寒さも和らぎ春の息吹が満ち始め、躍動の気配が感じられる今日の佳き日に、公私ともご多用の中、御来賓として、PTA会長 魚住美穂様、蜻蛉会会長 長谷川雅清様、市内4中学校を含めた関係中学校長様をはじめとする学校関係者の皆様にご臨席を賜り、兵庫県立小野高等学校 第七十六回卒業証書授与式をこのように挙行できますことは、大きな喜びです。

ただ今、本校における全課程を修了し卒業証書を手にした二百七十一名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆さんは、3年前、コロナ禍の中で高校生活をスタートしました。学校行事も縮小や中止や変更が続き、マスクによってお互いの素顔を見ることもなく、最初の2年間は思い描いていた高校生活とは違ったものであったかと思えます。

しかし、今年度になって、4月の蜻蛉祭では、これまで実施できなかった中で守ってきた、本校の伝統を大切にしながら、自分達らしい新たな一步を踏み出して欲しいという思いを込めた「前へ」というテーマのもと、大いに盛り上がり、2日目の一般公開も大盛況でした。また、7月の夏季球技大会でも、4種目中、男子サッカー、女子ドッジボール、女子バスケットボールの三種目で3年生チームが優勝し、クラスが団結して頑張ってくれました。

9月の体育大会では、「燃やせ魂」をテーマに取り組みました。本校の名物である着付け競争において、変装したホームルーム担任とともに素晴らしい演技を見せ、長縄跳びでのかけ声や息もぴったりで何度も跳んで、3年生が上位を独占する活躍を見せてくれました。総合成績は一〜三位をすべて3年生が独占するという、圧倒的なパワーを感じることができました。私も、皆さんの頑張る姿をたくさんカメラに収めて、リニューアルしたホームページにアップしたことを覚えています。

部活動では、全国大会、近畿大会などで活躍して、後輩達を育ててくれました。ビジネスライセンス部、放送部、生物部、美術部、書道部、文芸部、軽音楽部、陸上競技部、水泳部、ウエイトリフティング競技において、全国大会出場を果たし、吹奏楽部が関西大会で金賞を獲得するなど、春の選抜高校野球大会出場を残念ながら逃した野球部も含めて、素晴らしい功績を残してくれました。

ビジネス探究科では、全国商業高等学校協会、いわゆる全商主催の検定試験の九種目において一級を合格した九冠が三名、八冠が六名という、これまでにない快挙で、その他の表彰者も多く、かつてない素晴らしい頑張りでした。科学探究科では、探究活動での研究が「高校生バイオサミット in 鶴岡」において厚生労働大臣賞を受賞してテレビに取り上げられたり、生物学オリンピックで優秀賞を受賞するなどの素晴らしい活躍もありました。

七十六回生の皆さんは、様々な分野での活躍だけでなく、将来の進学・就職に向けて気持ちを切り替えて、進路実現に向けて最後まで頑張ってくれました。

それぞれ違った進路に進み、将来違った職業に就いて、違った人生を歩むこととなりますが、これからは、一人ひとりが目指す目標に向かって、本校で身に着けた力を存分に発揮してください。

今後の人生には、辛いことも、諦めようと思うときもあるかもしれません。その時は、「玉磨かざれば光なし 光なければ石瓦たり」という言葉を思い出してください。ここでいう「玉」とは宝石の原石で、可能性を秘めた皆さん一人一人のことです。宝石の原石は磨かなければ光りません。道に落ちている石や瓦のかけらは、大した価値もありますが、原石は磨かれて素晴らしい輝きを放ちます。辛く苦しいときは、宝石が磨かれている時だと信じて耐え抜いて欲しいと思います。皆さん一人ひとり光輝く人生を送ることを心から応援しています。

また、入学以来何度も聞いた校是である「明き・浄き・直き 誠の心」の精神をこれからも持ち続けてください。多くの知識や技能を身につけて何事にも明るく、邪で恥ずかしい心を捨てて、浄らかな「自利利他」と言われる他人の気持ちを考えた思いやりのある行動をして、素直な気持ちを持ち続けてください。これまで励ましてもらった両親や先生方、共に過ごした友人への感謝の気持ちも忘れないでください。

本校の校章であるトンボは、前にしか進まず攻撃性があり、先を考えて行動できる勇敢な昆虫で「勝ち虫」といわれます。トンボの魂である、挑戦し続けて失敗しても最後まで諦めない「蜻蛉魂」のプライド、本校の掲げている「世界で突き抜ける小野高プライド」で、社会を牽引し地域を支える人材として、将来活躍してくれることを期待しています。

AIやコンピュータが発達し、ソサエティ5.0の時代が訪れており、生成AIなど便利なものに流されず、①文章や情報を正確に読み解き対話する力、②科学的に思考・吟味して活用する力、③価値を見つけ出す感性や探究心を身につけてください。

皆さんが人生の中で、かけがえのない貴重な高校三年間を過ごした母校が、これからも皆さんの心の支えであり続けることを願っています。

民法が改正され、成人として皆さんは卒業することになります。成人に対しては保護者という言葉はもう正しくありませんが、これまでお子様を励まし支えてこられました保護者の皆様、お子様のご卒業を心より祝福申し上げます。

また、三年間にわたり本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。これからも、本校へのご支援を賜りますようお願いいたします。

二百七十一名、一人ひとりの限りない前途に幸多からんこと、そして、これから踏み出す新しい世界で常に誠実さをもって努力し、夢を実現されますことを心より祈念し、式辞といたします。

令和六年三月一日

兵庫県立小野高等学校長 小倉 裕史